

製品名: BLNK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81007**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	BLNK
別名	AGM4; BASH; LY57; SLP65; BLNK-S; SLP-65; MGC111051
遺伝子 ID	29760.0
SwissProt ID	Q8WV28
免疫原	大腸菌で発現したヒト BLNK の精製された組み換え断片。

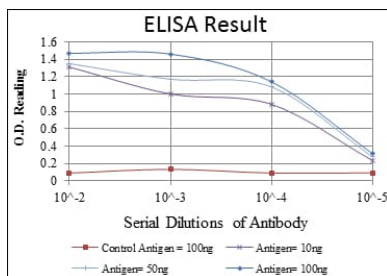
背景

この遺伝子は、B細胞の発達において重要な役割を果たす細胞質リンカーまたはアダプタータンパク質をコードしています。このタンパク質は、B細胞受容体関連キナーゼの活性化と下流のシグナル伝達経路を橋渡しし、様々な生物学的機能に作用します。5つのチロ

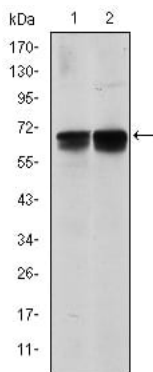
シン残基のリン酸化は、このタンパク質が B 細胞受容体の活性化後に異なるシグナル伝達エフェクターを核形成するために不可欠です。この遺伝子の変異は、低グロブリン血症と B 細胞欠損を引き起こします。これは、プロ B 細胞からプレ B 細胞への移行が発達的に阻害される疾患です。このタンパク質の欠損は、プレ B 細胞急性リンパ芽球性白血病の一部の症例でも認められています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。

研究分野

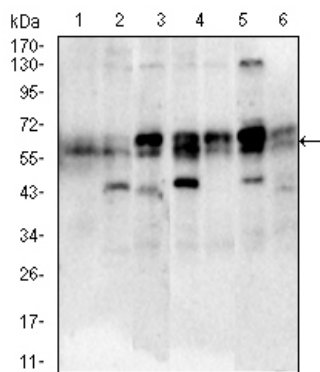
画像データ



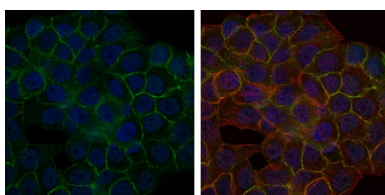
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



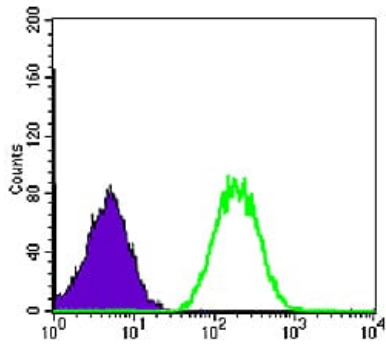
NIH/3T3 (1) および BCBL-1 (2) 細胞溶解物に対する BLNK マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



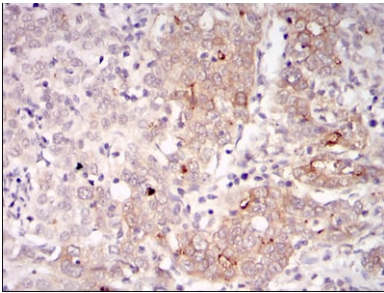
CHO3D10(1)、COS7(2)、L1210(3)、C6(4)、NIH/3T3(5)、PC-12(6)、マウス肝臓(7)細胞溶解物に対する BLNK マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



BLNK マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



BLNK マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



BLNK マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。